

## ひので映画大使最新版

[2017年10月5日]

### 第83回映画大使「僕のワンダフル・ライフ」

- ・ 期日 平成29年9月21日(木曜日) ※試写会にて開催
- ・ 場所 イオンシネマ日の出

#### 作品介绍

W・ブルース・キャメロンが愛犬を亡くした恋人のために書いたベストセラー小説「野良犬トビーの愛すべき転生」を、『マイライフ・アズ・ア・ドッグ』『HACHI 約束の犬』の名匠ラッセ・ハルストレム監督が映画化したハートフル・ストーリー。

出演は少年時代のイーサン役をK・J・アパが好演しているほか、成人したイーサン役をデニス・クエイドが、イーサンの初恋の女性ハンナ役をブリット・ロバートソンが、大人になったハンナ役をペギー・リプトンが担当している。

犬を飼う事の一歩の幸せ、それは犬たちがくれる無償の愛である。主人公であるゴールデン・レトリバーの子犬ベイリーが、その愛をささげる飼い主イーサンと喜びも悲しみも分かち合い、固い絆で結ばれてゆく様や、愛する飼い主と悲しい別れをしても、ある目的を思い続けるけなげで一途な愛を、さわやかなタッチで感動的に描き出す。



(C) 2017 Storyteller Distribution Co.,  
LLC and Walden Media, LLC

### 映画大使の「感動と感想」をお伝えします。

このコーナーは、映画を見た感想や感動を、ストーリーは伏せて「みなさん」に紹介するコーナーです。

#### 映画大使の「第一声！」

- ★ 凄く良かったですね！
- ★ 期待して観ましたが、期待通りでしたね！
- ★ 本当に良い作品でした！
- ★ 無条件に楽しくて感動しました！
- ★ 動物を抱きしめたいという気持ちが膨らむ、温かくてとても良い作品でしたね！

★ この作品を観る事ができて良かったです！

★ 感動もしましたし、癒されましたし、勇気ももらえました！



今回参加された、映画大使の皆さんです！

### 映画大使の「映画のツボ！」

---

#### Aさん

この作品を観終わって最初に思ったのは、人間よりも動物のほうが利口だなという事でした。愛情も深いですし、いろいろな事も考えていますしね。基本的には人間は対話をしないと相手の事がわからないですが、動物は飼い主の事は本当によくわかっているのだなと思いました。私の家でも過去に犬を飼っていた事もあったのですが、かわいそうな事をしたなと反省しましたね。

とても楽しく心温まる作品でした。大人の方にももちろん良いのですが、お子様に観ていただくと違った感覚で楽しいだろうなと思いましたね。

動物を抱きしめたいという気持ちが膨らんで、温かくてとても良い作品でした。

#### Bさん

おかしかったり、悲しかったりするシーンなどがあって良かったです。犬の気持ちがわかりやすくなっていった事も良かったですし、犬目線の映像も良かったです。

物語はいくつかあるのですが、最初のストーリーが最後に集結する感じがしましたね。

犬は頭がいいのだなと思いました。孫が犬を飼いたいというのですが、今までは「あなた面倒みられるの？」と言って飼わせないようにしていたのですが、この作品を観て、やはり動物を飼うという事は情操教育にもなりますし、いい事なのだなと思いましたね。今度、孫と一緒に観たいなとも思いました。きっと感動すると思いますし、犬をもっとほしがるとは思いませんね。

本当に良い作品でした。

#### Cさん

私も過去に犬を飼っていたので、動物に愛情をかけるという事は、とても大事な事だと思います。かけられた愛情を動物の方が人間よりも忘れないように思いますね。利口だなと思います。動物を飼っていると勉強させられる事はたくさんありますね。

良い作品を観る事ができて良かったです。

#### Dさん

犬目線でみた時の、人や猫のちょっとした勘違いが観ていて凄く面白かったですし、景色も綺麗で、癒される作品でした。

心が温まる作品で本当に感動しましたね。

#### Eさん

無条件に楽しくて感動しました。

私も犬を飼っているのですが、今14歳を越えましたので、人間ですともう70歳を超えています。今飼っている犬の前にも別の犬を飼っていたのですが、私が今飼っている犬はこの作品に登場するペイリーのように賢くないので、舞い戻ってきたという事はないと思います。

この作品では何匹かの犬の生活が描かれていますが、犬にとっては、どんな環境でどんな性格の飼い主に飼われるかという事は凄く大切な事ですよ。私も「うちの犬は幸せなのかな」と思う事があります。

この作品では多くの犬が出てきましたが、私は犬の「目」が好きなんですよ。犬の目を見ていると、なんだか全てを見通される気がします。何にもわかっていない感じがする事もありますけどね。

この作品を観る事ができて良かったです。期待して今日観ましたが、期待通りでした。

#### Fさん

---

私の家は犬ではなく、猫を飼っているのですが、動物から見ると人間の気持ちは全てお見通しなのだなという事を凄く感じました。特に犬は嗅覚が優れていますので、もしかすると臭いで人間の気持ちがわかってしまうのかなと思ひまして、自分の家の猫の見かたが変わるかもしれないと思ひましたね。

この作品でも飼い主とペットとの別れのシーンがありました。私も何回かみとっているのですが、ペットとの別れは寂しいですし、悲しいものなのですが、必ず人間よりも先に亡くなるので、みとらなくてはならない時が訪れるのだと思ひ、改めてそうなる事の覚悟をさせられるような感じを受けました。しかし、そうなるのは私だけではなく、みんなそうなのだなと思ひましたね。

観終わったあとに幸せになれる作品で、凄く良かったです。

### Gさん

犬が「自分は何をするのだろうか」などと考えている事がわかって面白いと思ひました。

生まれる場所や周りの人は選べないので、その中で精一杯生きているという事は、動物も人間も同じなのだなと思ひましたね。自分の子どもも選べないで、私のところへ来てくれたわけですね。

私の家も過去に犬を飼ってまして、18年生きたのですが、最後まで一生懸命生きる姿がとてもけなげで、精一杯生きたという事が凄くわかりました。そういうところが人間よりも辛抱強くてけなげですね。自分からは要求しないですものね。一生懸命生きている事は伝わってくるので、その時その時を一生懸命生きればいいのだなと思ひました。

犬はやはり優しいなと思ひましたね。

感動的で幸せな気持ちになれてとても良かったです。

### Hさん

感動もしましたし、癒されましたし、勇気ももらえました。犬とか猫と一緒に生活されている方にとっては、ペットは家族であったり友達であったりして、毎日癒されたり勇気ももらえたりしているのだなと思ひましたね。私は動物を飼った事がないのですが、この作品を観て犬に感情移入してしまひまして、今までわかっていない犬への想いがわかってきたような感じでした。

この作品の犬が私よりもきちんと使命を果たして生きているなと感じまして、使命を果たしていない自分が恥ずかしいなと思ひながら観ていました。

### Iさん

犬は飼い主や周りの環境によって生活が違ひまして、広々としたところで運動しながら過ごす犬もいれば、外に追いやられている犬もいます。やはり犬は家族の一員なのだと思ひましたね。犬も人間も自分が生まれる場所を選ぶ事ができませんが、それぞれ精一杯生きているなと感じました。

私の家は犬を飼っていないのですが、犬や猫が好きです。結婚する前は常に飼っていたのですが、今は子どもにアレルギーがありまして飼う事ができない状況です。ですので犬を散歩されている方をみかけるといいなと思ひながら見ていたのですが、この作品を観て、昔の事を思ひ出しましたね。

ほのぼのとしていて良かったです。

### 作品の内容(印象に残ったシーンなど)

- ・犬の表情が凄く良かったですね。
- ・犬の表情とかをどのようにして撮影したのかなと思ひましたね。
- ・登場する犬が何種類ありますが、よくこの犬を選んだなと思ひましたね。
- ・犬はしつけが大切ですよね。
- ・犬の気持ちを人間が察してあげないといけないですね。
- ・犬がいると癒されますね。

### まとめ

今回は、試写会という事もあり、多くの方と一緒にこの作品を観ました。年代は吹替版なので、小さなお子様から年齢の高い方までいろいろな年代の方が観られていました。

その中で、私の近くの席の方は、大きなリアクションをするわけではありませんが、作品の内容と共に嬉しい時には拍手をして喜び、自分が納得する結果の時にはうなずき納得され、悲しい時には悲しい顔をされていました。それだけ内容に入り込んで観る事のできる作品であったと思います。時間もあっという間に過ぎた感じでした。

動物が好きで飼われている方や過去に飼っていた方はもちろん感情移入をされ、過去を思い出したりし、そうでない方であっても、感動されたり、動物の心を知るきっかけになっていたようでした。

映画大使の方からも、「凄く良かった」や「期待して観ましたが、期待通りでした」など好評で、映画後の座談会では犬の話で盛り上がりました。その他「動物の撮影をどのようにしたのか」など、話が尽きる事の無い状況でもありました。

この作品は、今までありそうでいて、実はあまり取り上げられていないストーリーだった事や、撮影の方法や演出にも工夫がされている事により、観る人に新鮮さを植え込むのだと思います。

劇場の大スクリーンで是非、ご覧ください！

映画大使では、年代も性別も違う方達が、それぞれ意見を出し合いひとつの映画について話し合うという、日ごろできない経験をすることが出来ます。映画を観て自分がこう思っただけではなく、年齢や経験などの違う人の目線で観たことを聞くことにより、違った発見があるので、ひとつの映画が何倍にも広がって行きます。

今後も「ひので映画大使」にご期待ください！！

## 関連ページ

- ・ [これまでのひので映画大使](#)
- ・ [ひので映画大使のトップに戻る](#)

## ご意見をお聞かせください

このページは役に立ちましたか？

役に立った どちらともいえない 役に立たなかった

このページは見つけやすかったですか？

見つけやすかった どちらともいえない 見つけにくかった

送信

## お問い合わせ

東京都 日の出町 文化スポーツ課 社会教育係  
電話: 042-597-0511(内線541) ファクス: 042-597-6698

ひので映画大使最新版への別ルート

[トップ](#) [新着情報](#)

Copyright (C) Hinode Town All Rights Reserved.